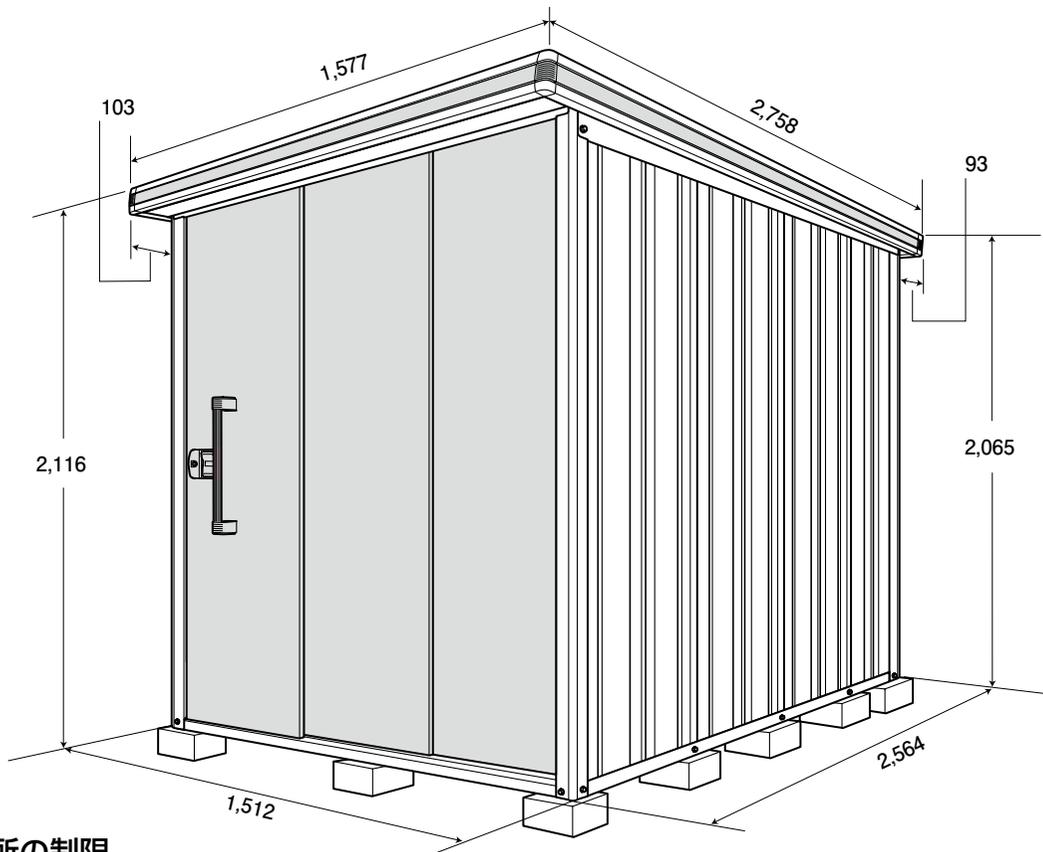


ヨド物置 エルモ

組立説明書LMD-1525型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機種	1525 型	
部品	LM5-0124	
枠	上枠前後	LM5-0203
	下枠前後	LM5-0253
	上枠左右	LM5-0306
	下枠左右	LM5-0356
柱	LM5-0415	
間柱	LM5-1459	
鼻隠し	LM5-1103	
補強 (一般型・積雪型共通)	LM5-0515	
床	LM5-0724	
	LM5-0724	
屋根	LM5-0951	
壁	LM5-1004	
	LM5-1004	
	LM5-1022	
袖壁	LM5-1053	
扉	LM5-1703	
棚板	LM5-1903	
合計	18	

●梱包内容表

●部品

LM5-0124

部材名	数量
ELD 間柱固定金具	2
ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15	5 (1)
ELD 柱補強金具 (AS)	1
ELD 下レールキャップ	1
T型レンチ	1
ELD アンカープレート (L)	4
ELD 屋根隙間隠し A	3
ELD 屋根隙間隠し B	1
EL 鍵孔フサギ	1
ボルト M6×15 (白)	186 (5)
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5年	1

※()内は予備

●上枠前後

LM5-0203

部材名	数量
ELD 上枠前 AS-A2.0	1
ELD 上枠後 A2.0	1

●下枠前後梱包

LM5-0253

部材名	数量
ELD 下枠前 AS-A2.0	1
ELD 下枠後 A2.0	1
ELD 床押え A2.0	2

●上枠左右

LM5-0306

部材名	数量
ELD 上枠左 A 3.5	1
ELD 上枠右 A 3.5	1

●下枠左右梱包

LM5-0356

部材名	数量
ELD 下枠側 A3.5 (左)	1
ELD 下枠側 A3.5 (右)	1

●柱

LM5-0415

部材名	数量
ELD 柱前 AS- 右 L	1
ELD 柱前 AS- 左 L	1
ELD 柱後 L	2
ELD 戸当り (M) L	1
ELD 間柱前 L	1
ELD 間柱後 L	1

●補強

LM5-0515

部材名	数量
ELD もや A-A2.0 DLK	1
ELD もや A-A2.0	2
ELD 床補強 A2.0	3

●床

LM5-0724

部材名	数量
ELD 床板 A3.5	2

●屋根

LM5-0951

部材名	数量
ELD 屋根 (35) A3.5	4

●壁

LM5-1004

部材名	数量
ELD 壁パネル L-A	4

LM5-1022

部材名	数量
ELD 壁パネル L-F	2

●袖壁

LM5-1053

部材名	数量
ELD 袖壁 L-G	1

●鼻隠し

LM5-1103

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A2.0	1
ELD 鼻隠し後 A2.0	1

●間柱

LM5-1459

部材名	数量
ELD 間柱 側前 3.5L	2
ELD 間柱 側中 3.5L	2
ELD 間柱 側後 3.5L	2

●扉

LM5-1703

部材名	数量
ELD 扉前 L-G	1
ELD 扉後 L-G	1
ELD 扉支持材 AS-G	1
ボルト M6×15 (白)	3
ELD 取手	1
ELD 連動車	1
ELD 戸車上昇防止プレート AS	3

●棚板

LM5-1903

部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 N 右	3
ELC 棚受 N 左	3

○部材名称にはA2.0、A3.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

※安全のため必ず手袋を着用してください。

- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 15ヶ(幅19 cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。) ※土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上) 4本 ※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧



●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。



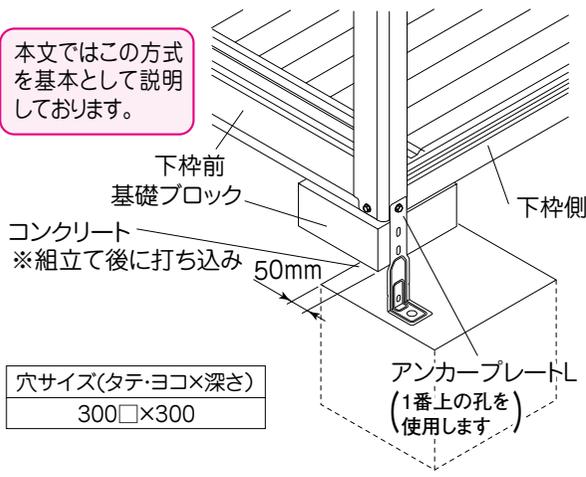
注意

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。

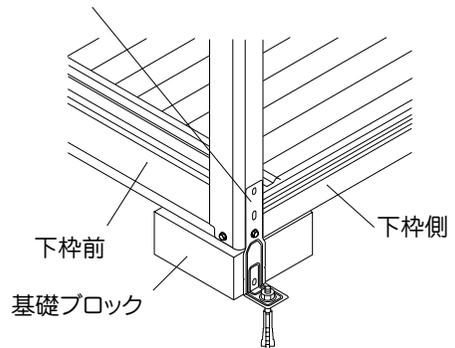
本文ではこの方式を基本として説明しております。



《コンクリート床の上に設置する場合》

オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上)で固定してください。

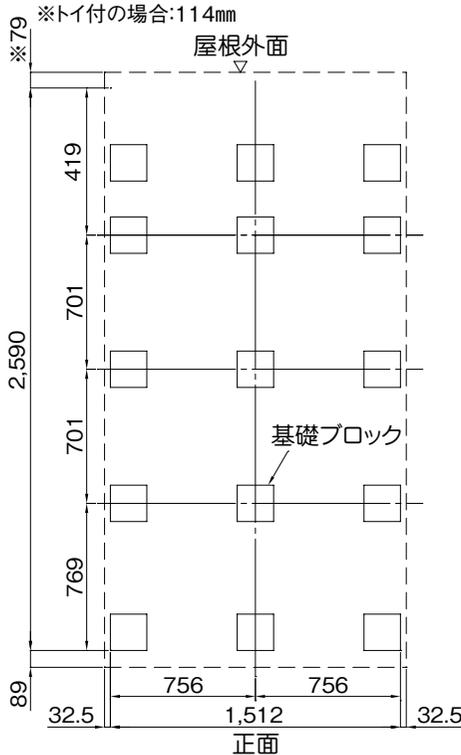
アンカープレートL



△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ① 設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ② 水準器を使って水平になるように基礎ブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



注意

基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。

- ・壁パネルが入らない
- ・扉がスムーズに動かない。
- ・鍵が掛からない。

注意

内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。

内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にお読みください。

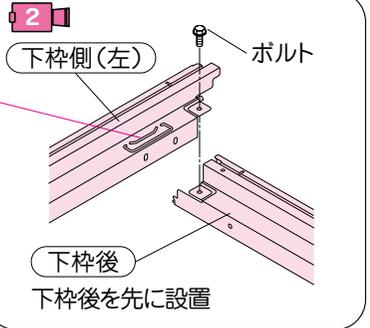
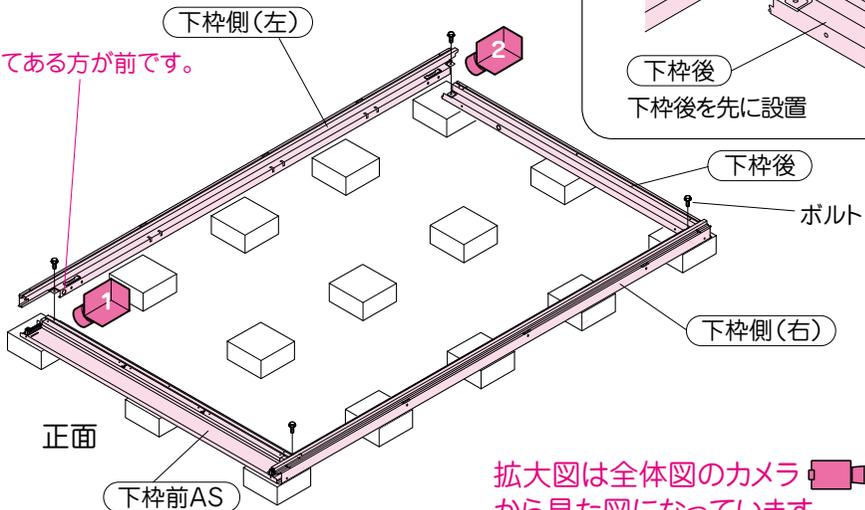
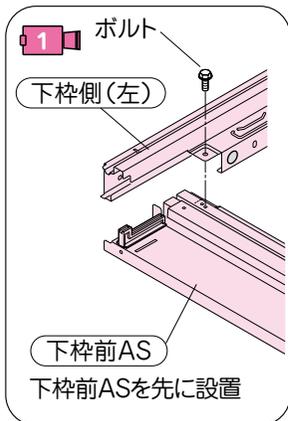
2 下枠の組立

使用梱包	LM5-0253
	LM5-0356
使用ボルト	4本

- ① 下枠前AS・(下枠後)を基礎ブロックの上に設置します。
- ② 下枠側(左)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。

※このスリット孔は内アンカー(オプション)にする際に使います。

※部材名ラベルが貼ってある方が前です。

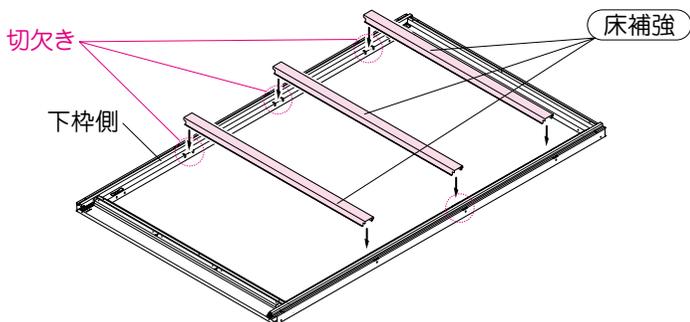


拡大図は全体図のカメラ📷の視点から見た図になっています。

3 床の組立

使用梱包	LM5-0515
	LM5-0724
使用ボルト	0本

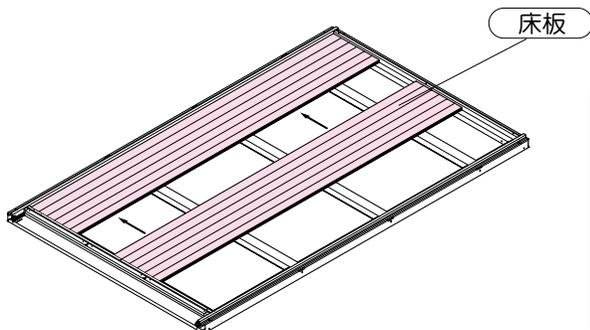
① 床補強 を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



注意

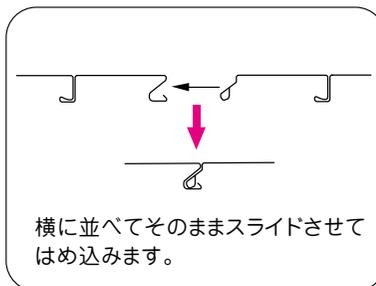
内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
 ※工事方法は内アンカーセット(オプション)の説明書をご参照ください。

② 床板 を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。



注意

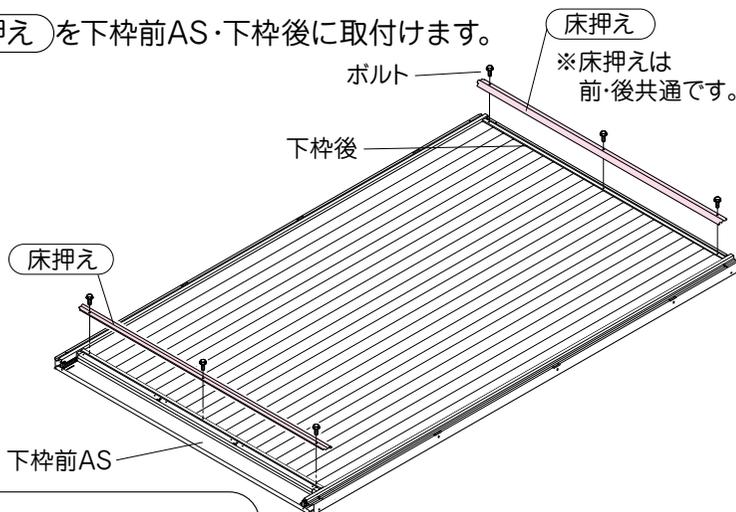
床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。



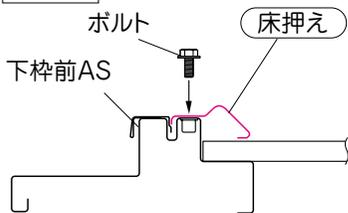
4 床押えの組立

使用梱包	LM5-0253
使用ボルト	6本

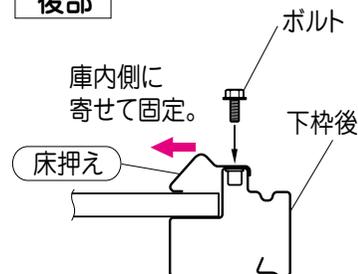
① 床押え を下枠前AS・下枠後に取付けます。



正面部



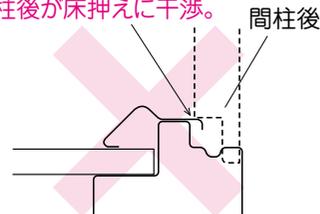
後部



注意

後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

間柱後が床押えに干渉。

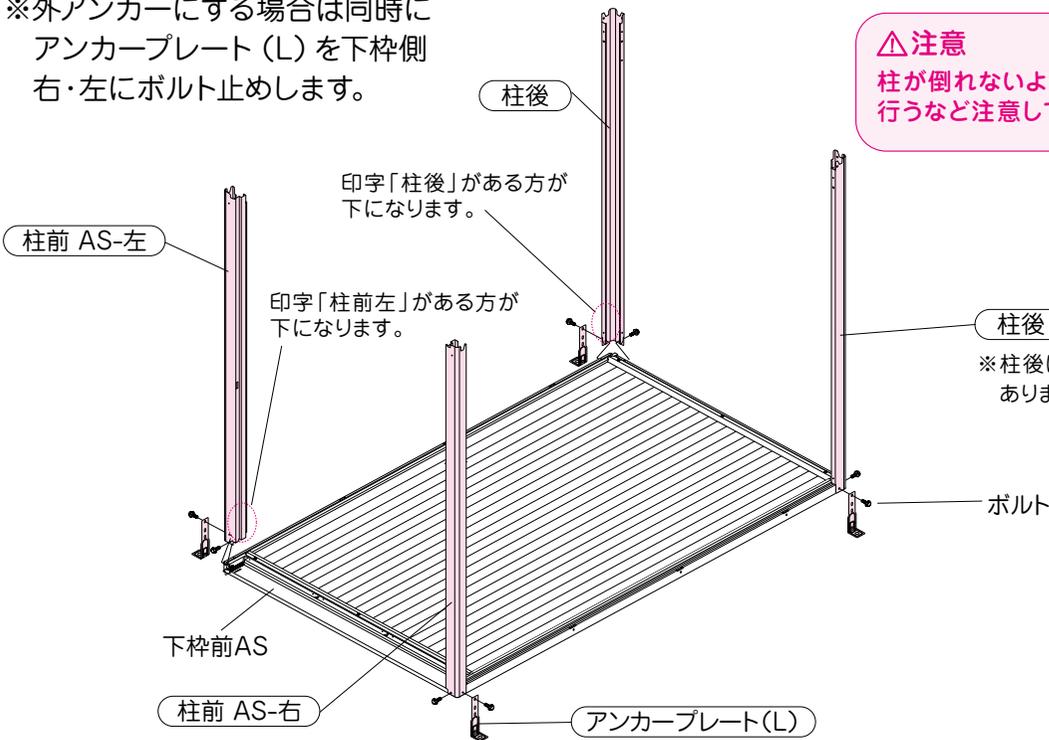


5 柱の組立

使用梱包	LM5-0415
	LM5-0124
使用ボルト	8本

① 柱前AS・柱後 を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。

※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を下枠側右・左にボルト止めします。



△注意

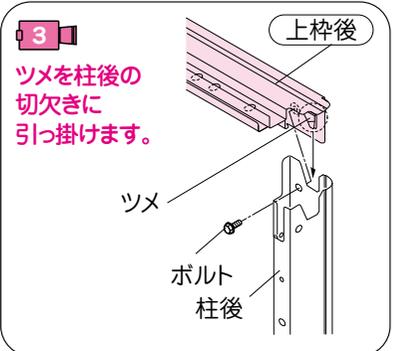
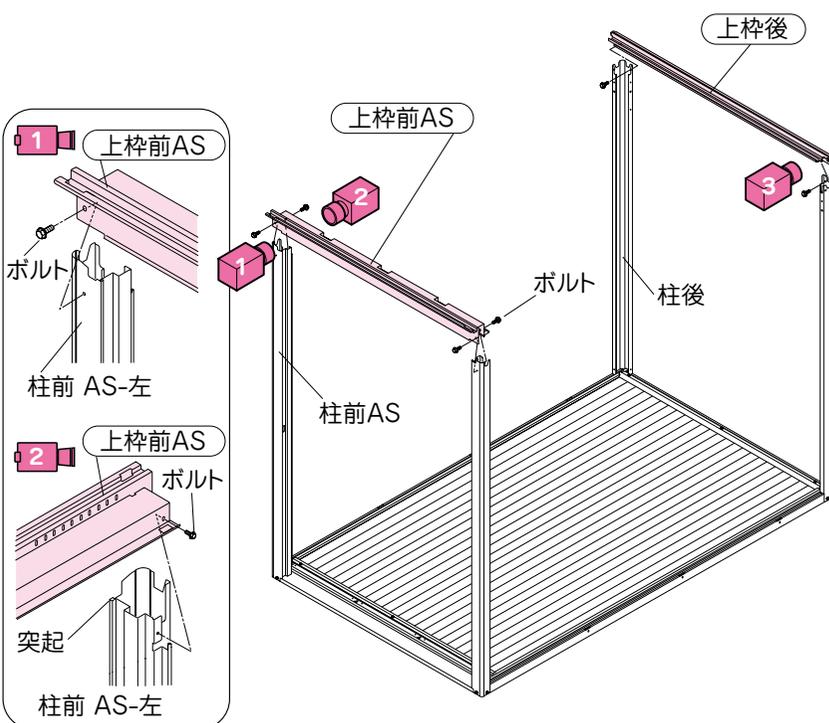
柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

柱後
※柱後には左右はありません。

6 上枠前後の組立

使用梱包	LM5-0203
使用ボルト	6本

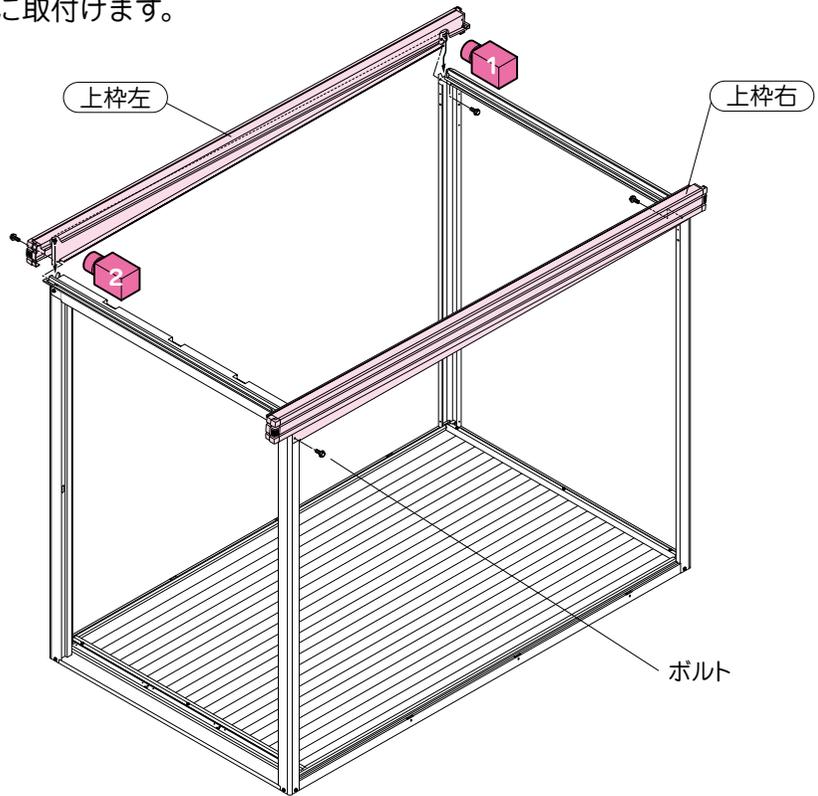
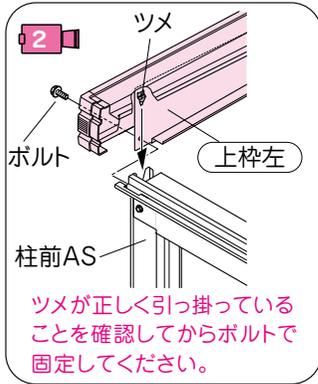
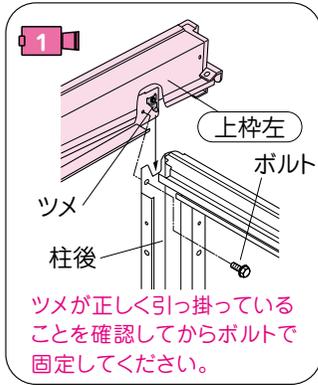
① 上枠前AS を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
② 上枠後 のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



7 上枠左右の組立

使用梱包	LM5-0306
使用ボルト	4本

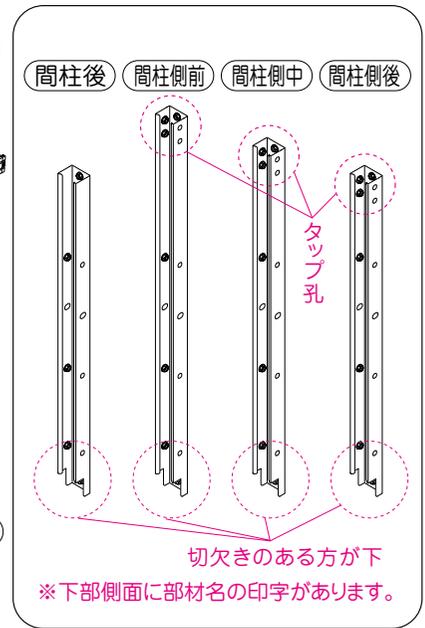
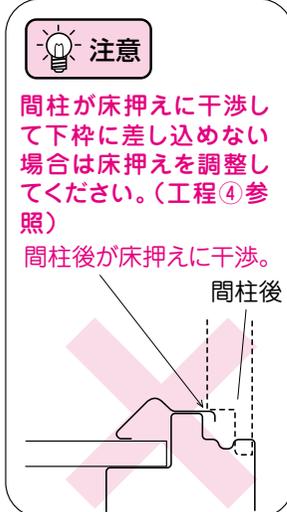
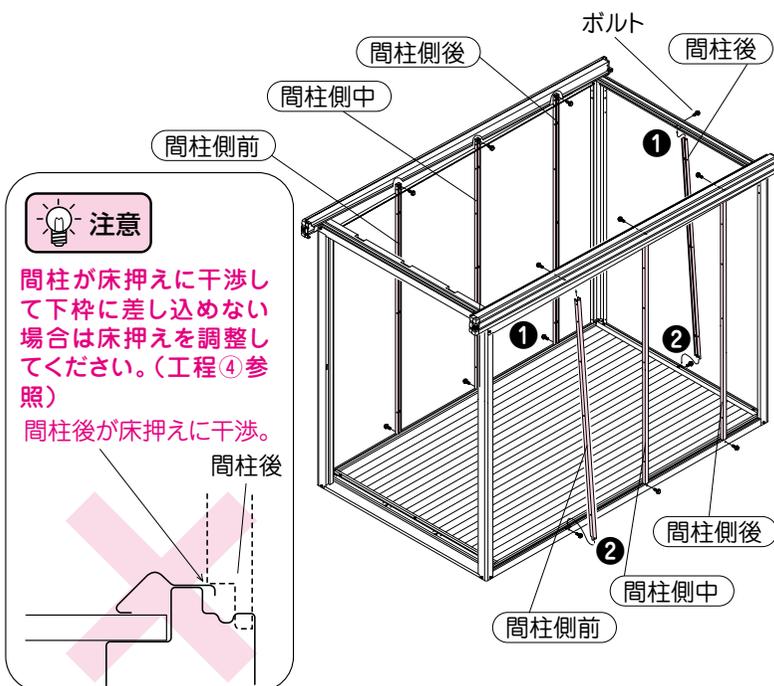
① 上枠左・上枠右を柱に取付けます。



8 間柱側・後の組立

使用梱包	LM5-0415
	LM5-1459
使用ボルト	14本

- ① 間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ② 間柱側も同様にして取付けます。



9 屋根の組立

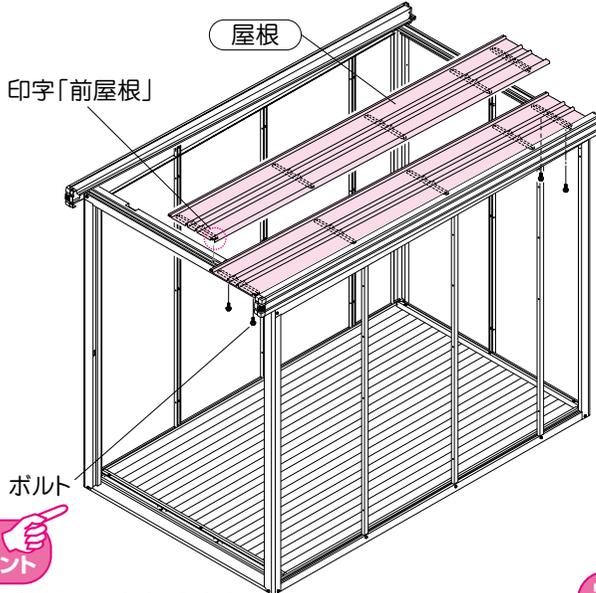
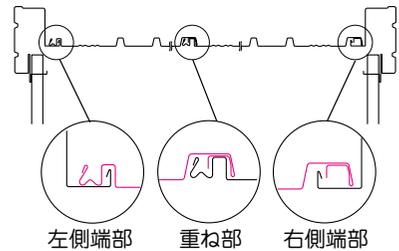
使用梱包	LM5-0951
使用ボルト	16本

① 屋根を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。

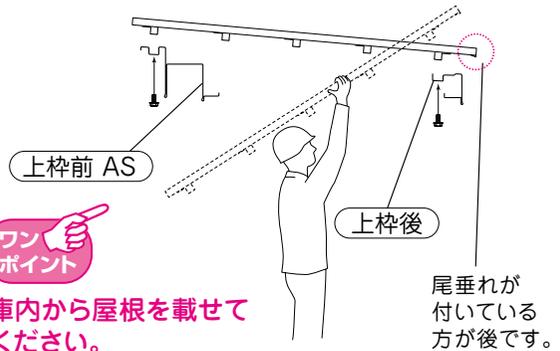
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。

△注意

屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。



ボルトは仮止めにしておくと壁パネル(工程⑬)が入り易くなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程⑬)に本締めしてください。



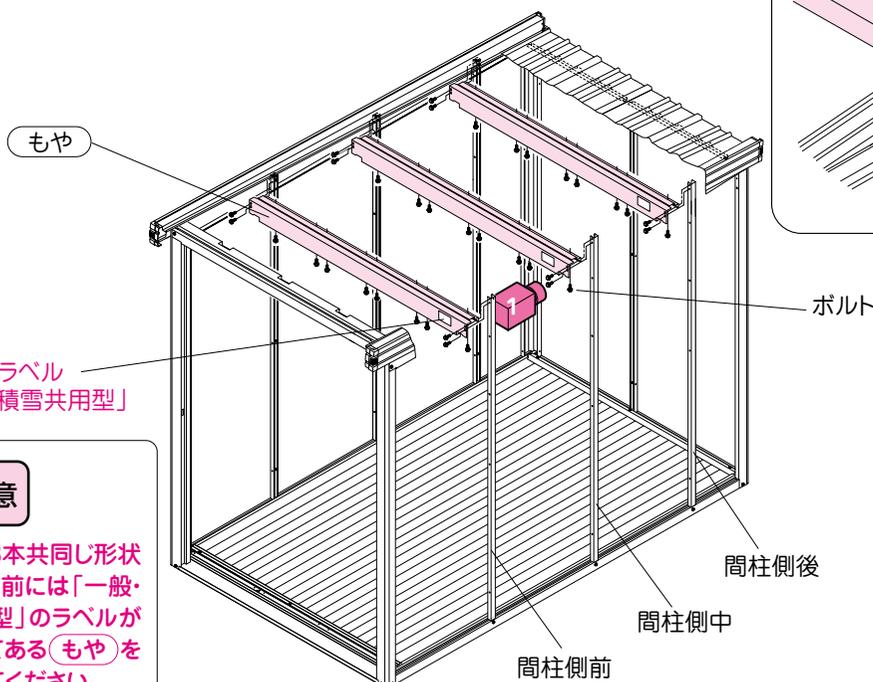
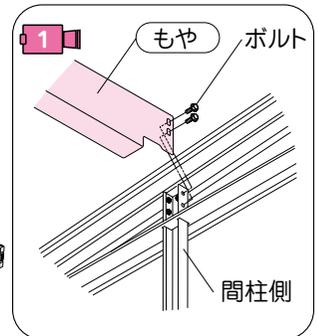
庫内から屋根を載せてください。

10 もやの組立

使用梱包	LM5-0515
使用ボルト	36本

① もやを正面から間柱側に載せてボルト止めします。

② もやと屋根をボルト止めします。



もやは3本共同し形状です。一番前には「一般・積雪共用型」のラベルが貼りつけてあるもやを取り付けてください。

11 間柱前の組立

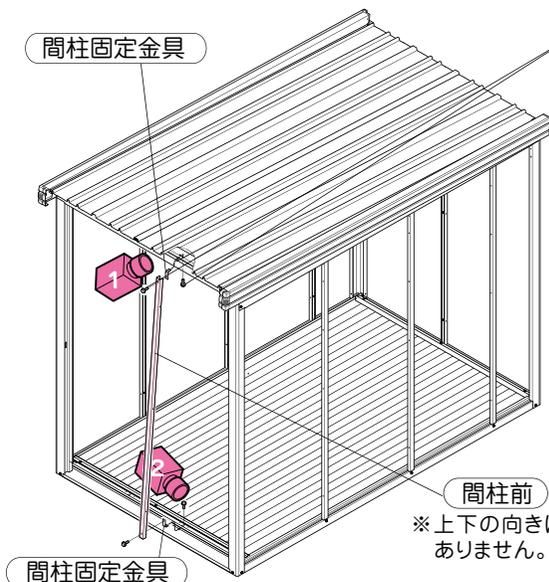
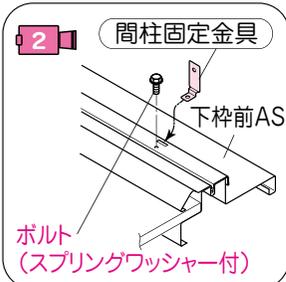
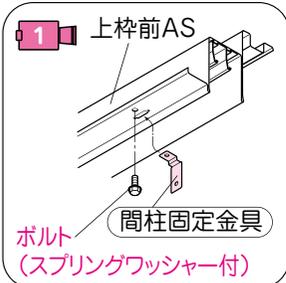
使用梱包	LM5-0415
	LM5-0124
使用ボルト	ボルト (スプリングワッシャー付) 4本



注意

工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱を読んでください。

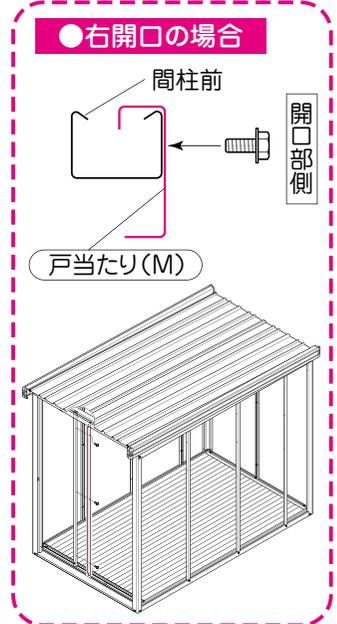
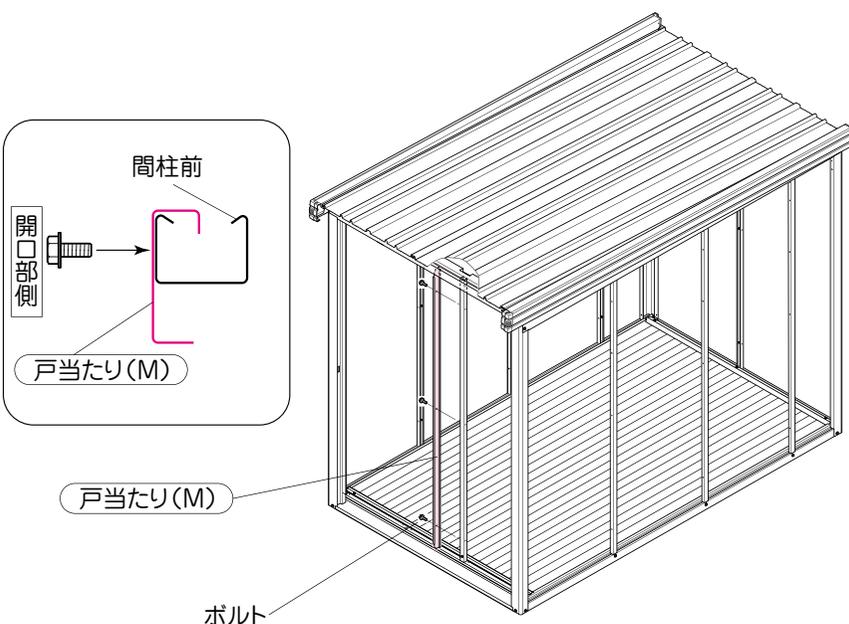
- ① 間柱固定金具 を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。
- ② 間柱前 の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



12 戸当たり(M)の取付け

使用梱包	LM5-0415
使用ボルト	3本

- ① 戸当たり(M) を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。- 工程⑰参照

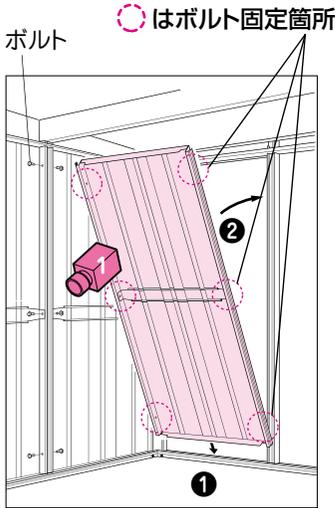


13 壁パネル・袖壁の取付け

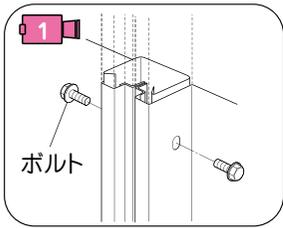
使用梱包	LM5-1004
	LM5-1022
	LM5-1053
使用ボルト	65本

- ①室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ②柱・間柱にボルト止めします。(開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程⑭参照)

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

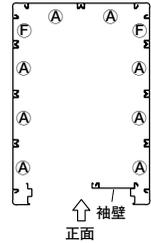


ワンポイント
ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。

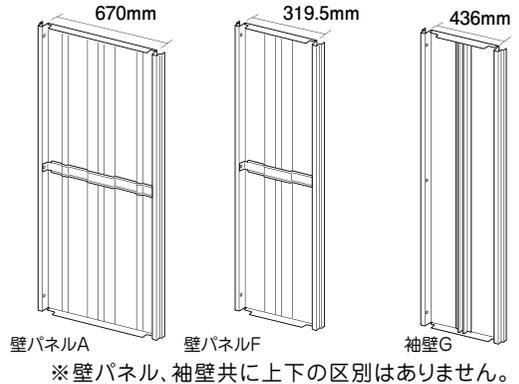


注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の立ちを確認してください。

壁パネルの取付位置



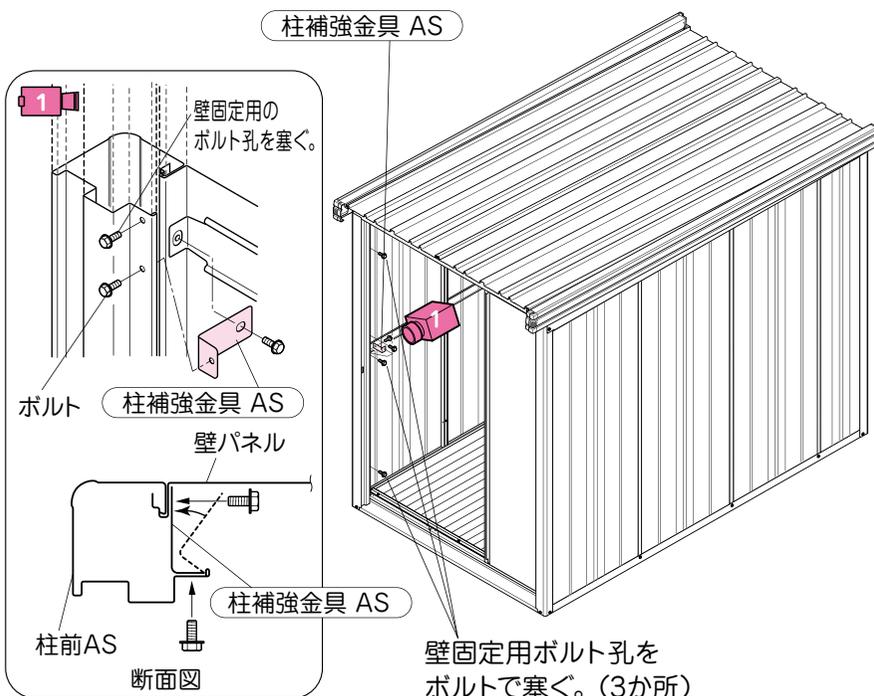
壁パネルの種類



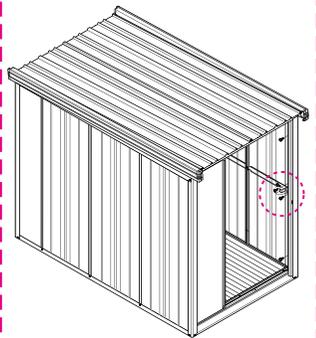
14 柱補強金具の取付け

使用梱包	LM5-0124
使用ボルト	5本

- ①(柱補強金具AS)を柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。
- ②壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



●右開口の場合



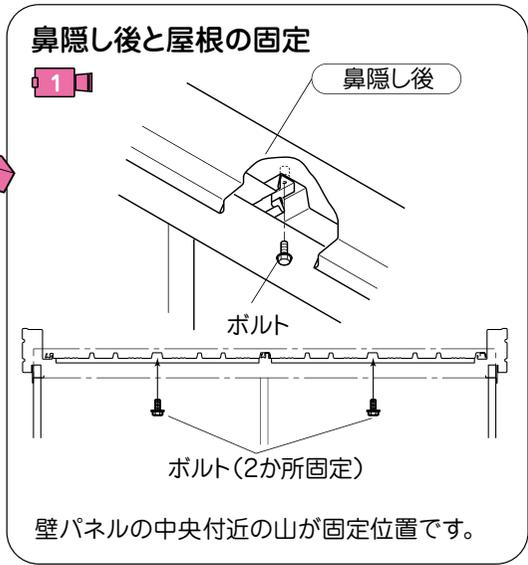
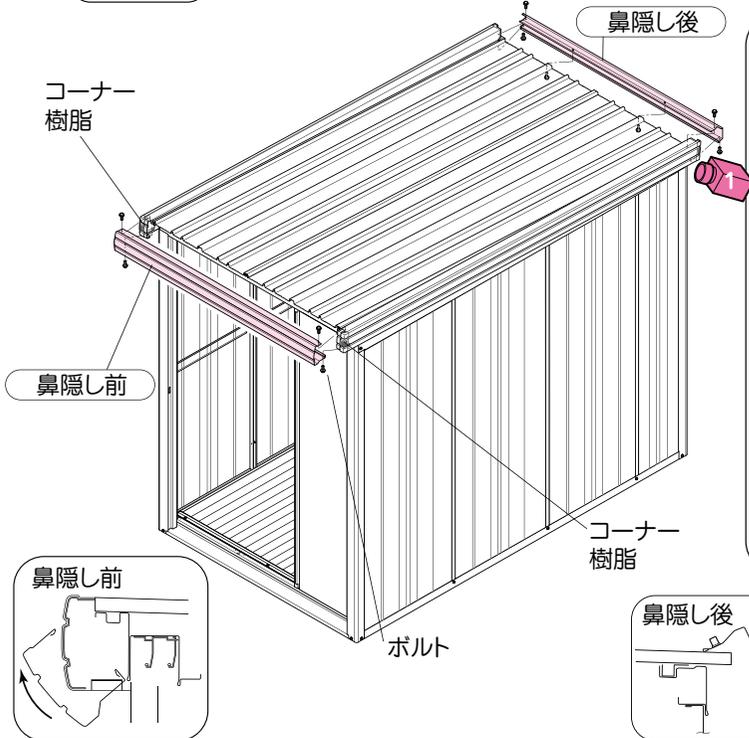
※柱前AS-右に取り付けます。

壁固定用ボルト孔をボルトで塞ぐ。(3か所)

15 鼻隠しの取付け

使用梱包	LM5-1103
使用ボルト	10本

- ① 鼻隠し前・鼻隠し後を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。



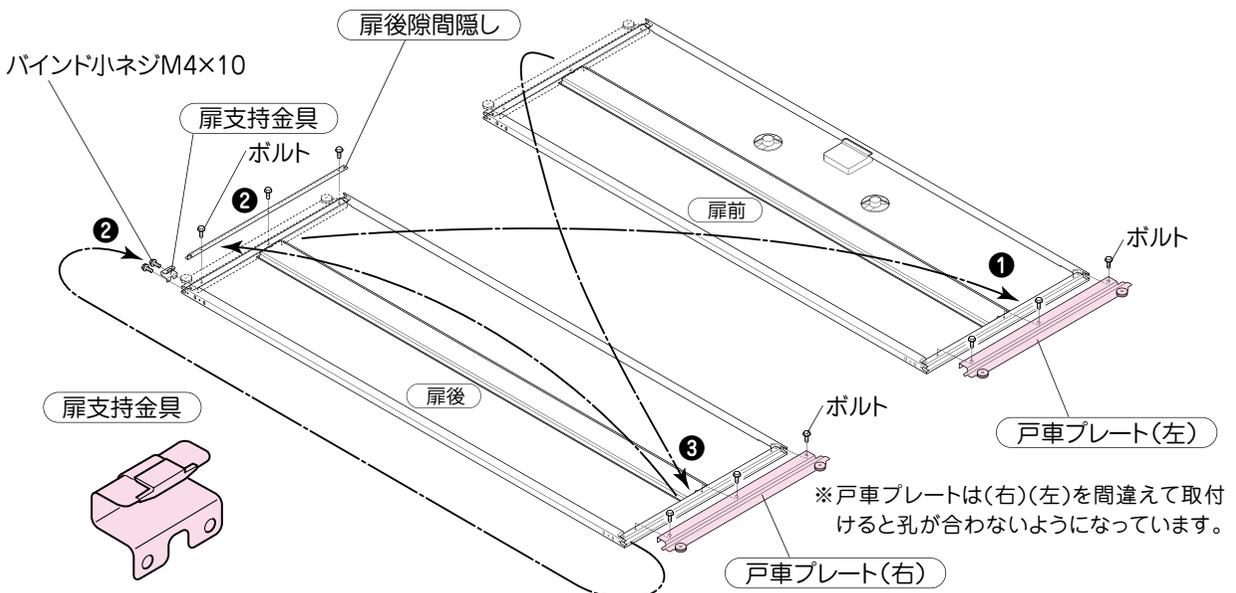
注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト	0本

注意 右側開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

- ① 扉後から戸車プレート(左)を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
- ② 扉後の扉後隙間隠し・扉支持金具を取り外して扉後の反対側に取り付けます。
- ③ 扉前の最初に付いていた戸車プレート(右)を取り外して扉後に取付けます。



17 扉の吊り込み

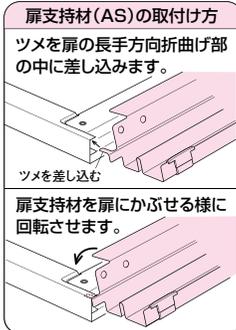
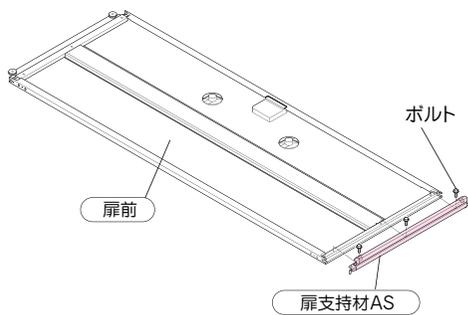


注意

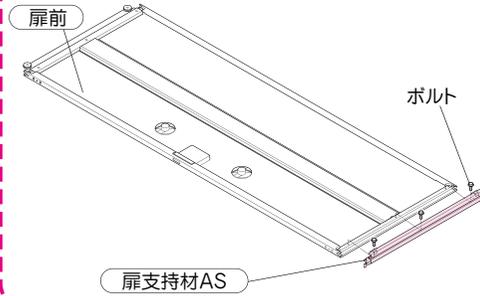
扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に
砂埃が無いことを確認してください。

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト	3本

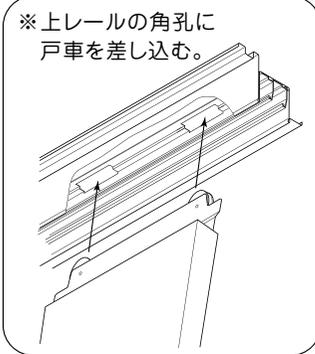
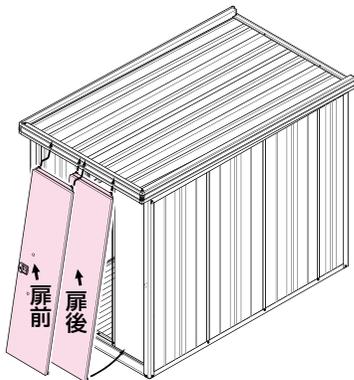
① 扉支持材ASを(扉前)に取付けます。



●右開口の場合



② 扉後・扉前)の順番で吊り込みます。

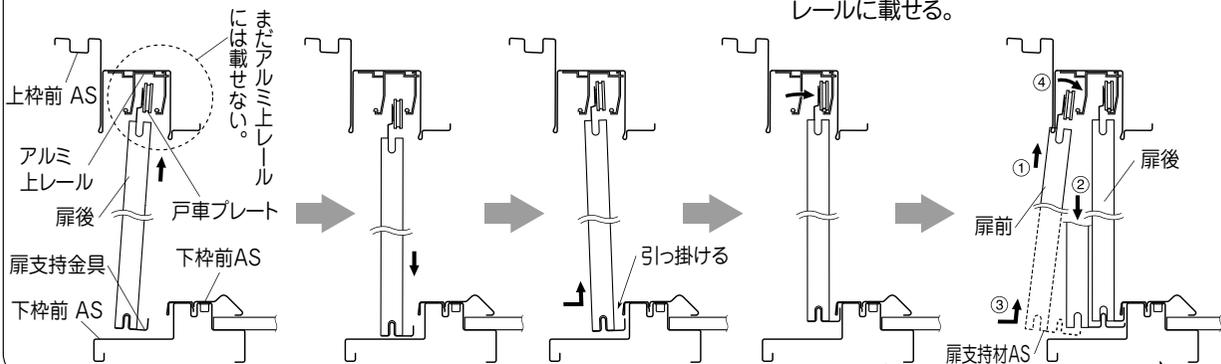


●右開口の場合

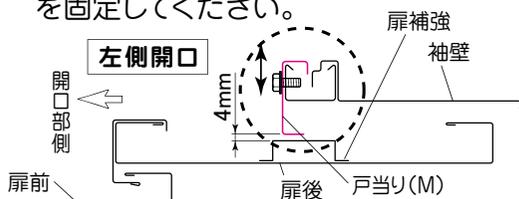


扉の吊り込み手順

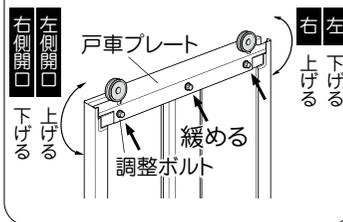
- ① 扉後の戸車プレート
を角孔に差し込む。
- ② アルミレールに載せ
ずに下に落とす。
- ③ 下部を奥に押し当
てる。
- ④ 扉後を持ち上げ戸
車プレートをアルミ
レールに載せる。
- ⑤ 扉前も同様に吊り
込む。



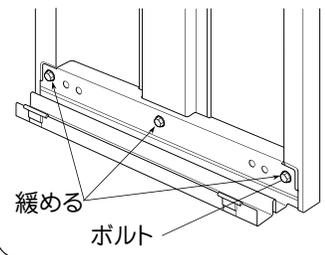
③ 戸当たり(M)と扉補強の隙間が
4mm程度になる位置で(戸当たり(M))
を固定してください。



扉後が吊り込みにくい場合は、
一度戸車プレートを緩め、扉支持金
具がついている側を上げ、反対側を
下げてボルトを締め、吊り込んでく
ださい。



扉前が吊り込みにくい場合は、
扉支持材のボルト(3か所)を緩め
て吊り込んでください。吊り込み後、
ボルトを締めます。



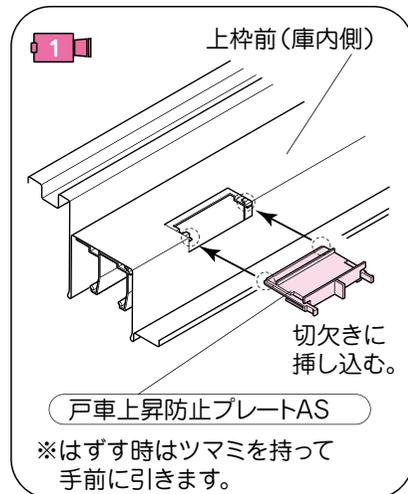
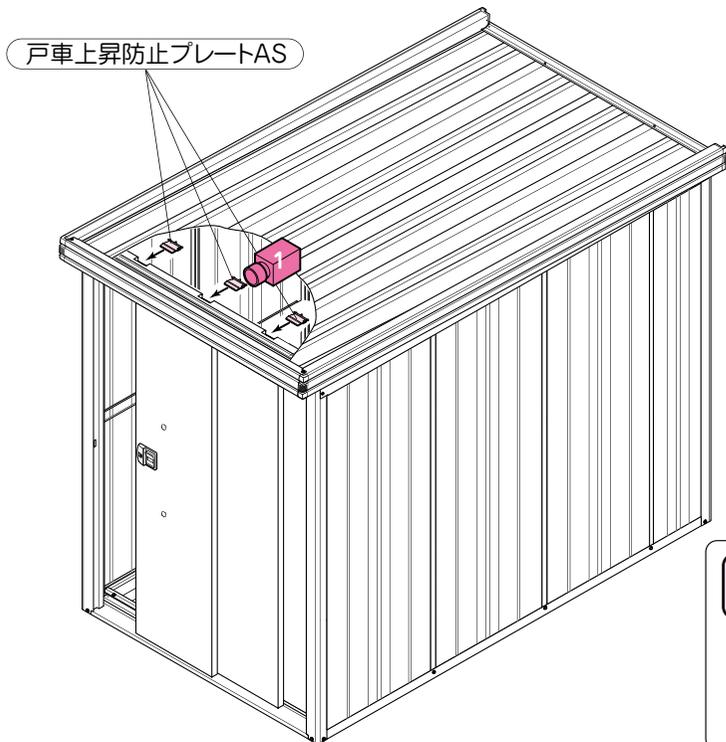
ワンポイント

扉フランジと戸当たり(M)が干渉
して扉が最後まで閉まらない場合
は戸当たり(M)を少し屋外側にず
らして固定してください。

18 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト	0本

① 戸車上昇防止プレートASを上枠前ASに取付けます。(3か所)



注意

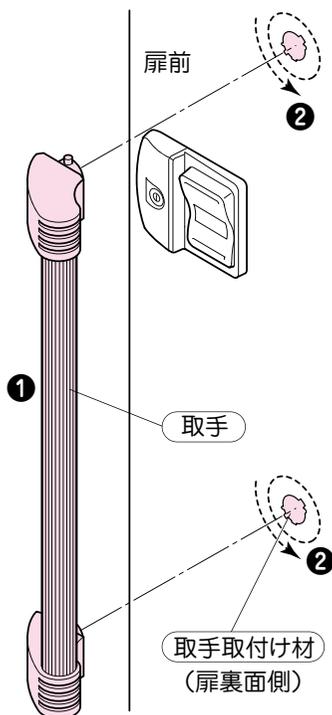
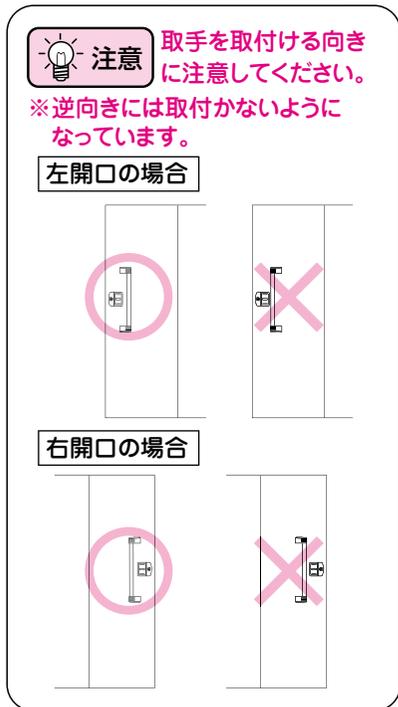
戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを取外してください。

19 取手の取付け

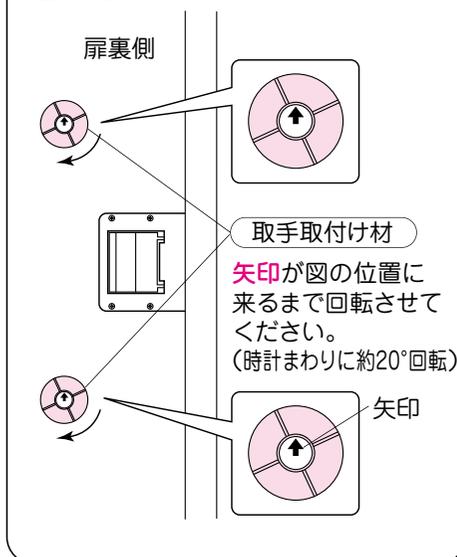
使用梱包	LM5-1703
使用ボルト	0本

① 取手を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。

② 扉裏の取手取付け材を回して取手を固定します。



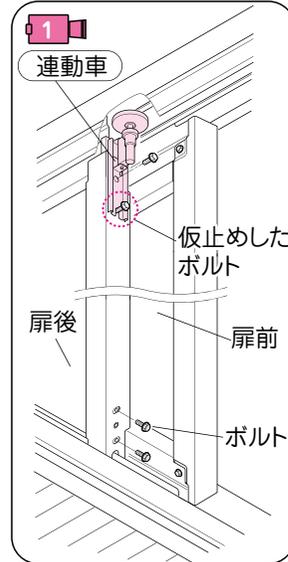
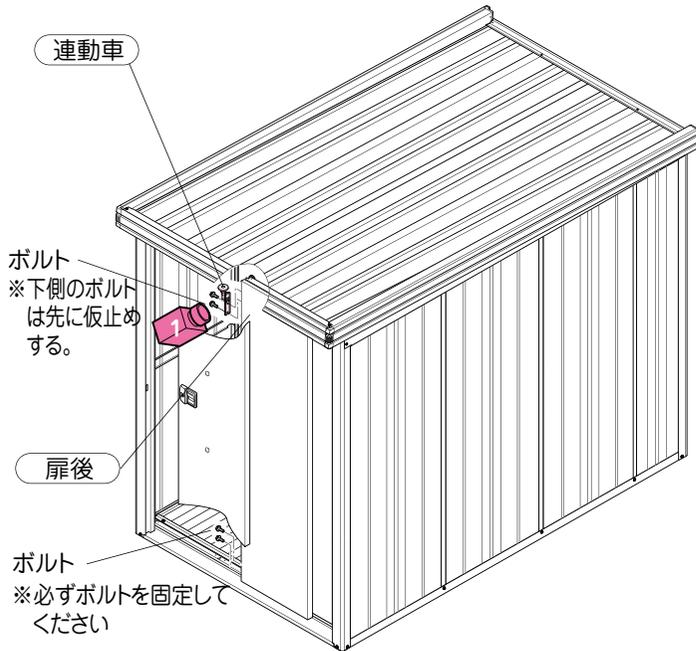
② 取手の固定



20 連動車の取付け

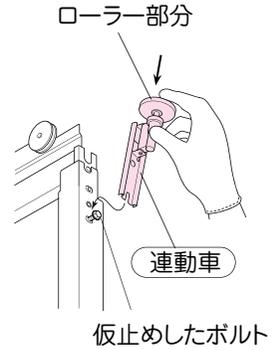
使用梱包	LM5-1703
使用ボルト	4本

- ① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。
(ネジ部を5mm程度残してください)
- ② 連動車のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。
- ③ 連動車をボルトで固定します。(仮止めしたボルトも締め込んでください。)
- ④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



ワンポイント

ローラー部分を押し下げると取付けし易くなります。



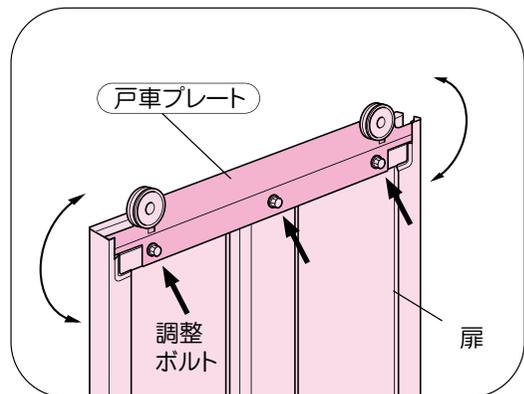
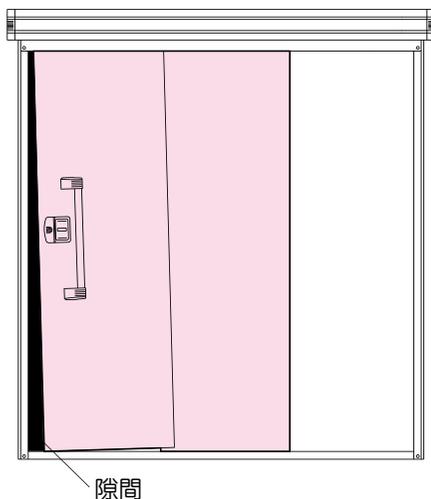
注意

連動車には絶対に注油しないでください。連動しなくなります。

21 扉の建付け調整

- ① 扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト（調整ボルト）をゆるめて調整します。



ワンポイント

ボルトをゆるめて庫内から扉を閉めて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。



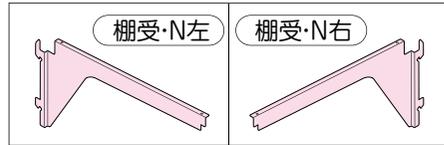
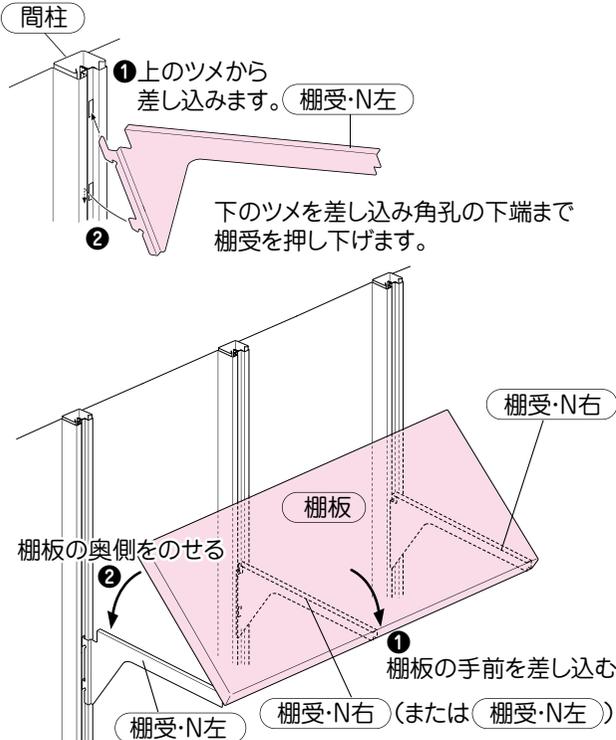
注意

建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。

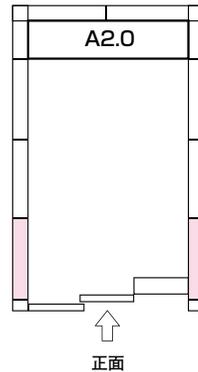
22 棚板の取付け

使用梱包	LM5-1903
使用ボルト	0本

- ① 棚受 を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



棚板取付け例



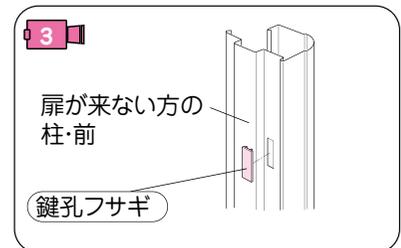
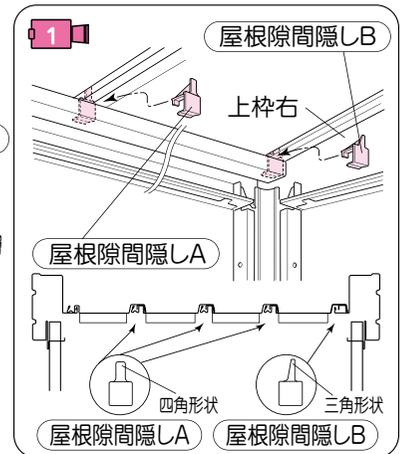
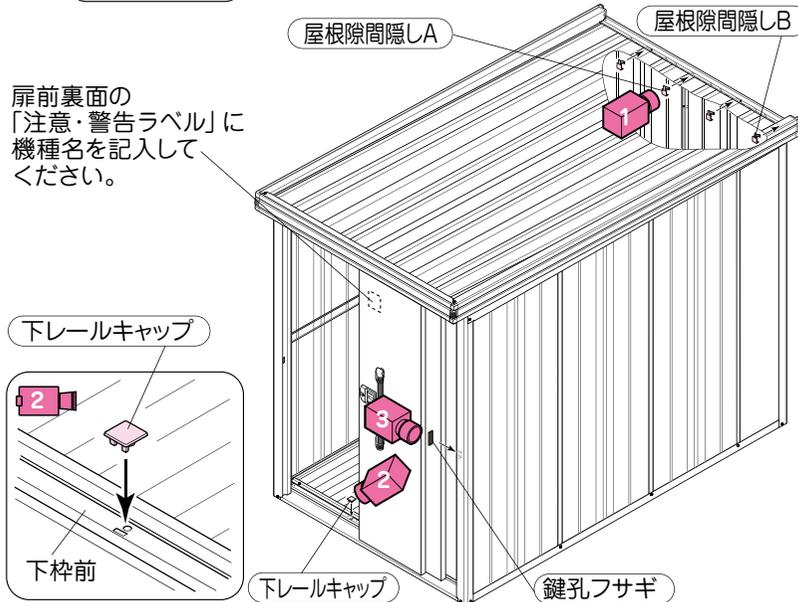
注意

色の壁パネルには棚受は取付けできません。

23 その他部品の取付け

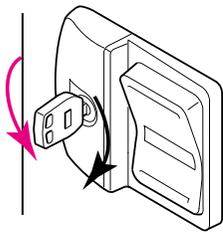
使用梱包	LM5-0124
使用ボルト	0本

- ① 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
- ② 屋根隙間隠しA を上枠後の屋根の重ね部に、屋根隙間隠しB を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
- ③ 下レールキャップ を下枠前に取付けます。
- ④ 鍵孔フサギ を袖壁側の柱前に取付けます。



◆錠操作方法について

●施錠する方法



施錠：鍵を差し込んで反時計回りに
180° 回します。

解錠：鍵を差し込んで時計回りに
180° 回します。

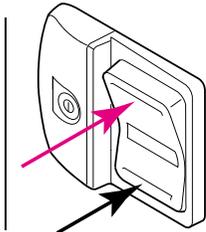
※右側開口でも動作は同じです。

△注意

本ロックした状態で
ボタンを強く押し込
まないでください。
錠の破損に繋がります。



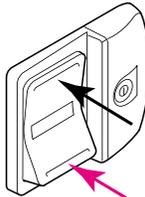
●仮ロックする方法



仮ロック：ボタンの上側を
押し込みます。

解錠：ボタンの下側を
押し込みます。

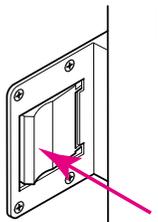
●右開口の場合



解錠：ボタンの上側を
押し込みます。

施錠：ボタンの下側を
押し込みます。

●庫内からの解錠方法



施錠時、仮ロック時どちらの場合でも庫内から解錠できます。
(庫内からの施錠、仮ロックはできません。)

庫内側のレバーを押し込みます。

※施錠した状態で内部から解錠した場合、
次に施錠する際には鍵を一旦時計回りに
180° 戻す必要があります。

△注意

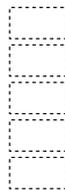
使用しない時は中に人がはいらない
よう必ず施錠してください。
施錠、仮ロックする場合は庫内に人が
いないことを十分確認してください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

チェック欄

- ①扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。
- ②鍵が正常に作動するかご確認ください。
- ③戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。
- ④棚板の配置確認をしてください。
- ⑤機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)



○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS,連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程⑰⑱⑳)
・扉がスムーズに連動しない。	1.本体の建ちを確認してください。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程⑲)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり (M) を調整してください。(工程⑰)

この組立説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います

お客様へ

組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ

取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(1525)

ヨドコウ

淀川製鋼

(2014年A制作)